平成28年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人
明星会

目　　次

１　法人の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２　Ｐ

２　法人改革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２　Ｐ

３　法人の運営する事業所の概要・・・・・・・・・・・・・　３　Ｐ

４　法人会議等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４　Ｐ

５　施設整備の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４　Ｐ

６　法人の運営する事業内容・・・・・・・・・・・・・・・・　５　Ｐ

◎明星学園・第二明星学園・グループホーム

〇主な事業の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６　Ｐ

〇利用者の健康管理と保健衛生　・・・・・・・・・・・・・　１０　Ｐ

〇利用者の食生活健康管理　・・・・・・・・・・・・・・・　１２　Ｐ

〇利用者の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５　Ｐ

◎グループホーム（有誠寮、有明寮、北方のぞみハイツ）

〇事業所の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６　Ｐ

〇事業の内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１７　Ｐ

◎特定相談支援事業所（明星学園一番星、第二明星学園一番星）１８　Ｐ

◎その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１８　Ｐ

◎明星保育園事業報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１　Ｐ

平成２８年度社会福祉法人明星会　事業報告

１　法人の概要

社会福祉法人明星会は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、社会福祉事業を行ってまいりました。

１．第一種社会福祉事業　　障がい者支援施設
２．第二種社会福祉事業　　保育所、一時預かり事業
　　障がい福祉サービス、特定相談支援事業

２　法人改革

社会福祉法人制度改革法案が平成２８年３月３１日に成立し、平成２９年４月１日から施行されました。その内容は、

１．経営組織のあり方の見直し（ガバナンスの強化）
２．事業運営の透明性の向上
３．財務規律の強化
４．地域における公益的な取組を実施する責務
５．内部留保の明確化と福祉サービスへの再投下
６．行政の関与の在り方

であり、当法人も新たな制度に対応すべく事務を実施してまいりました。

ア　定款の変更
　評議員及び評議員会に関する事項
　役員の定数等に関する事項
　理事会に関する事項　　について、新たな制度に対応し変更等を行いました。

イ　評議員の選任
　評議員選任・解任委員会を設置して７名を選任しました。
　（平成２９年４月１日就任）

ウ　今後の予定
　社会福祉充実計画の作成
　地域における公益的な取組　　が必要となります。

３　法人の運営する事業所の概要

（１）明星学園

ア　所在地　　飯田市駄科２２５０番地
イ　事業所の種類　　障害者支援施設
ウ　サービスの種類　　生活介護サービス　　定員 40 名　　現員 39 名
　　施設入所支援サービス　　定員 40 名　　現員 39 名
　　短期入所サービス（併設型）　定員 4 名　　現員 3 名
エ　建物　延べ床面積　　１，８４２㎡　　オ　敷地面積　　６，０１５㎡

（２）第二明星学園

ア　所在地　　飯田市駄科２１９１番地１
イ　事業所の種類　　障害者支援施設
ウ　サービスの種類　　生活介護サービス　　定員 60 名　現員 65 名
　　施設入所支援サービス　　定員 68 名　現員 59 名
　　短期入所サービス（空床型）　定員 ー名　現員　名
エ　建物　延べ床面積　　３，１７５㎡　　オ　敷地面積　　７，１５６㎡

（３）明星保育園

ア　所在地　　飯田市鼎切石３９２８
イ　事業所の種類　　保育所
ウ　サービスの種類　　保育所　　定員 120 名
　　未満児保育　　定員　ー名
　　延長保育　　定員　ー名
　　一時預かり事業　　定員　ー名
エ　建物　延べ床面積　　１，１０５㎡　　オ　敷地面積　　２，６８０㎡

（４）グループホーム（有誠寮、有明寮、北方のぞみハイツ）

サービスの種類　：　共同生活援助　３棟
　　（有誠寮）　　定員４名　　現員３名
　　（有明寮）　　定員３名　　現員２名
　　（北方のぞみハイツ）　定員４名　　現員４名

・有誠寮（北方）　　飯田市北方２１３９番地５　　延べ床面積　　９０．６㎡
・有明寮（高羽）　　飯田市高羽町２丁目５番地１　延べ床面積　１０５．５㎡
・北方のぞみハイツ　　飯田市北方６８番地７　　延べ床面積　１８３．２㎡

（５）特定相談支援事業所（明星学園一番星、第二明星学園一番星）

サービスの種類　：　特定相談支援事業所

明星学園一番星　　契約利用者 60 名

第二明星学園一番星　　契約利用者 50 名

所在地は（建物、敷地）明星学園及び第二明星学園内

４　法人会議等の状況

役員構成　　理事６名　　評議員１３名　　監事２名

（会　　議）

５月１３日

法人監査

監事による平成２７年度事業、決算審査実施

５月２７日

理事会・評議委員会

平成２７年度事業報告、決算、規則改正などの重要事項について協議、決定。

１０月１７日

理事会・評議委員会

法人定款の変更、評議員選員選任・解任委員会運営細則について協議、決定。

３月２５日

理事会・評議委員会

平成２９年度事業計画案及び予算案、平成２８年度補正予算案

定款一部変更、理事会・評議員会運営規程制定、役員報酬・費用弁償規程

就業規則・給与規程の一部改正

新グループホームの設置

役員の選任など　　の重要事項について協議、決定。

５　施設整備の状況（主なもの）

〇有隣寮（虹組）耐震化工事及びトイレ改修工事

事業費　16,632 千円

・目的及び事業内容

①有隣寮は昭和５５年２月に建築されており、建築基準法に基づく耐震強度の不足の恐れがあり、大規模地震に備えて耐震補強工事を実施した。

②利用者のトイレを和式から洋式トイレ（車イス対応）に改修し、安全で快適なトイレ環境の改善（女性２基、男性大小１基）

・効果

①建物の安全性の確保

②利用者のトイレ環境が改善され、車イスの方は、スペースが広くゆったりと使用できるようになった。和式からの変更で足腰への負担が軽減した。

〇非常（１１０番）通報設備工事

事業費　950 千円（国の補助制度）

・目的及び事業内容

①不審者の進入、犯罪時にボタンを押すことにより警察に自動的に通報する装置を設置した。防犯に役立てる。

②施設の棟ごとに通報装置を設置しました。（事務所、各職員室）

・効果

①職員の防犯に対する意識が高まりました。

②利用者、職員の安全に役立てる。

６　法人の運営する事業内容

〇明星学園・第二明星学園・グループホーム

平成２８年度　事業の内容（明星学園・第二明星学園共通）

１　生活介護

（入浴・排せつ・食事等の介護、日常生活上の支援、生活能力の向上のための援助等）

生活介護サービス　　３９名（明星学園）

生活介護サービス　　６８名（第二明星学園）（内、通所３名）

２　施設入所支援

（生活介護、就労移行支援の対象者に対し、日中活動と合わせて、夜間における介護等）

施設入所支援サービス　　３９名（明星学園）

施設入所支援サービス　　５９名（第二明星学園）

３　短期入所事業（特に緊急性の高いケースについて短期間、入所受け入れ）

短期入所サービス　　３名（明星学園）

短期入所サービス　　０名（第二明星学園）

＜運営方針＞

平成２８年度も、「明星学園１０年構想～グランドデザイン～」を見据え、どんなに障がいが重くても、地域社会で「主体的に生きる」ことによって自己実現が満たされることを目指し、「コミュニケーション支援」、「自己確立と自己実現の支援」、「社会参加への支援」を行ってまいりました。あわせて、様々な障がいと多様なニーズを持っている利用者に対して、異なる価値の共存を認め合う「共生社会の実現」に向けて、利用者一人ひとりの「どんな暮らし」のために「何が必要か」を包括的に考え、求められる活動支援を目指します。

また、家族会との連携、外部機関との連携を図り、支援サービスの向上を目指します。

＜支援方針＞

①施設入所支援

・「お心主義」に基づくパーソンセンタードな支援とプログラムの提供
・「自己選択」を尊重した意思決定支援の実施
・利用者の心身機能低下に注意し、より個別的な医療・介護の支援の実施
・利用者の希望に沿った旅行実施
・余暇活動、地域行事などに積極的に参加
・保護者と連携し、保護者会活動が継続、発展するよう協力
・利用者が家族と円滑な交流が継続できるよう支援、家庭との懇談会を実施

②生活介護

・利用者個々のニーズを把握し、個別支援計画に沿ったサービス提供
・季節感のあるサービスの提供（お花見、運動会、秋まつり大会、餅つき大会、どんど焼き等）

③日中活動の充実

・言語聴覚士（ＳＴ）巡回指導、理学療法士（ＰＴ）巡回指導、アート活動、運動療法、アロママッサージ、アニマルセラピー、教育プログラム（生産活動）、ウイークエンドシアターなどの実施

④利用者の希望や要望に応じた、外出、外食、買い物の実施

◎主な事業の実施状況（別紙① 年間報告書参照）

〇利用者外出

・花見ドライブ
（星組） 4/11 大草城址公園 11 名、 5/9 園舎内 9 名
（月組） 4/25 千人塚公園 11 名、 5/12 阿智村伍和公園 8 名
（雪組） 4/13 与田切公園 19 名、 5/11 千人塚公園 19 名

・新緑ドライブ
（虹組） 5/17 千人塚公園 27 名

・遠足
（春） 4/21 羽場公園 21 名、高森山吹公園 27 名、松尾城址公園 38 名、
（秋）10/28 かざこし公園① 21 名、②38 名 鈴岡公園 27 名

・デイキャンプ 9/3 松川町 清流苑 利用者 18 名
・星組キャンプ 9/7 阿智村清内路キャンプ場 利用者 2 名 実習生 2 名
・サマーハイク① 6/21 千人塚公園 利用者 11 名 ボラ 5 名
・サマーハイク② 7/31 千人塚公園 利用者 12 名 ボラ 6 名 実習生 2 名

〇利用者旅行（小グループに分かれて実施）

・星組　８回（6/29・30、7/11・12、7/22、8/10、8/25・26、9/21・22、10/24・25、3/2・3）
日帰り旅行（山梨県方面等）　一泊旅行（ディズニーランド、ＵＳＪ）

・月組　７回（5/26・27、6/1・2、7/26・27、8/9・10、9/29、10/17・18、11/15・16）
日帰り旅行（長野方面等）一泊旅行（ディズニーランド等）

・雪組１３回（6/15・16、6/17・6/23・24、7/12、7/21、7/23・24、9/7・8、9/14、9/27・28、10/12、10/17・18、11/14、12/1・2）
日帰り旅行（愛知県方面等）　一泊旅行（ディズニーランド）

・虹組１０回（5/10・11、6/16・17、7/7・8、8/29・30、9/7、9/15・16、10/13・14、11/10・11、12/8・9、1/26・27）
一泊旅行（ディズニーシ―）一泊旅行（京都方面他）

〇療法関係（外部講師）

・音楽療法[音楽（歌、楽器）を通して聴覚・視覚への感覚を高め情緒の安定・開放を図り音楽を楽しむことを目的としている]

６８回（4/5、4/7、4/14、4/19、4/21、4/28、5/5、5/12、5/17、5/19、5/24、5/26、6/2、6/9、6/16、6/23、6/30、7/7、7/14、7/19、7/21、7/26、7/28、8/4、8/11、8/18、8/25、9/1、9/8、9/15、9/22、9/29、10/4、10/6、10/13、10/18、10/20、10/27、11/3、11/8、11/10、11/17、11/22、11/24、12/1 12/6、12/8、12/15、12/22、1/5、1/10、1/12、1/19、1/24、1/26、2/2、2/7、2/9、2/16、2/21、2/23、3/2、3/7、3/9、3/16、3/21、3/23、3/30）

・動作法[臨床動作法の専門講師により実施、弛緩動作、緊張動作のコントロールを学ぶ、動作のやり取りによって意欲を引き出し、心の活動の改善を図る]

雪組１１回（4/20、5/18、6/15、7/20、9/21、10/19、11/16、12/21、1/18、2/15、3/15）

月組１２回（5/10、5/17、6/14、7/5、8/2、9/6、10/4、11/8、12/6、1/10、2/14、3/7）

星組　９回（4/15、5/13、7/22、9/5、10/14、11/11、12/9、2/24、3/10）

虹組　６回（4/22、6/22、8/24、10/26、12/14、2/22）

・理学療法士（ＰＴ）巡回指導

[心身機能の変化に伴い生活リハビリや車いす等、環境に対する調整などの指導を受け支援に生かす]

１２回（月組 4/19、雪組 5/17、星組 6/21、虹組 7/11、月組 8/23、雪組 9/13、星組 10/18、虹組 11/14、月組 12/13、雪組 1/17、星組 2/14、虹組 3/22）

・言語聴覚士（ＳＴ）巡回指導
［口腔ケア、食事支援等の指導を受け支援に生かす］
１２回（星組 4/14、虹組 5/12、月組 6/16、雪組 7/14、星組 8/11、虹組 9/8、月組 10/31、雪組 11/17、星組 12/8、虹組 1/19、月組 2/9、雪組 3/30）

・アート活動［外部講師によるワークショップを実施。絵画やアート作品の制作を通して自己表現、気持ちの開放を図る］
３２回（4/12、4/19、5/10、5/17、6/14、6/28、6/29、7/12、7/26、8/8、8/23、8/30、9/6、9/13、9/20、10/11、10/18、10/25、11/8、11/15、12/9、12/13、12/20、1/17、1/24、1/31、2/14、2/21、2/28、3/10、3/14、3/21）

・アロマセラピー［専門講師によるアロマオイルを用いてのマッサージの指導を受け、体と心を癒す。コミュニケーションを深めるために役立てる］
４６回（雪組 4/6、星組 4/13、虹組 4/20、月組 4/27、星組 5/11、虹組 5/18、月組 5/25、雪組 6/1、虹組 6/8、星組 6/15、月組 6/22、雪組 7/7、星組 7/13、虹組 7/19、月組 7/27、雪組 8/3、星組 8/10、虹組 8/17、月組 8/24、雪組 9/7、星組 9/14、虹組 9/21、月組 9/28、雪組 10/5、虹組 10/12、月組 10/19、星組 10/26、雪組 11/2、星組 11/9、虹組 11/16、月組 11/23、雪組 12/7、星組 12/14、虹組 12/21、雪組 1/4、星組 1/11、虹組 1/18、月組 1/25、雪組 2/1、星組 2/8、虹組 2/15、月組 2/22、雪組 3/1、星組 3/8、虹組 3/15、月組 3/22）

・のびのびムーブ［外部講師による運動療法により、高齢化による体力減少の防止のため機能訓練を図る］
２６回（4/14、4/28、5/12、5/26、6/9、6/23、6/30、7/14、7/28、8/11、8/25、9/8、9/22、9/29、10/27、11/10、11/24、12/1、12/29、1/12、1/26、2/9、2/23、3/9、3/23、3/30）

・アニマルセラピー［猫カフェ　動物との交流による、心身の安定を図る］
１回（3/8）

〇主なイベント

・レクレーション大会	6/5	・アート夏フェスタ 2016	8/8
・大運動会	10/10	・明星きらめき祭	11/6
・餅つき大会	12/9	・クリスマス会	12/23
・生活発表会	12/23	・どんど焼き	1/15

〇各種スポーツ大会等

飯伊地区障害者スポーツ大会	(6/4)	飯田市勤労者体育館	10 名
長野県障害者スポーツ大会	(9/11)	松本平広域公園陸上競技場 やまびこドーム	12 名
飯伊地区ゆうあいﾚｸﾚｰｼｮﾝ大会	(10/21)	飯田市勤労者体育館	20 名
フライングディスク講習会	(2/18)	学園	5 名

〇家族会関係

・家族会食会　5/22（レストラン、温泉等）

雪組	昼神温泉	天心	27 名
虹組	下條村	コスモスの湯	18 名
月組	下條村	月下美人	38 名
星組	飯田市	pizzeria il saryo	33 名

・夏の家族懇談会　8/7
・冬の家族懇談会　12/23
・春の家族懇談会　3/19

〇防災防犯関係

・地震総合防災訓練　9/1
・消火訓練、応急手当訓練　9/6
・深夜想定夜間合同訓練　3/10
・避難訓練　年間１２回　（毎月２０日を目途に実施）
・防犯訓練（刺す股）　12/6

〇地域交流

・ボランティア

	（株）オムロン	9/23	23 名
	電機連合飯田	9/10	12 名
	松川町日赤奉仕団	11/5	20 名
	赤十字奉仕団東野分団	11/19	15 名
（行事）	レクレーション大会	6/5	飯田東中学校　16 名
	サマーハイク①千人塚公園	6/26	緑ヶ丘中学校　16 名
	サマーハイク②千人塚公園	8/6	飯田女子校　2 名
			上田女子短大　2 名
	大運動会	10/10	38 名

旭ヶ丘中 9 名、緑ヶ丘中 16 名
飯田女子校 8 名

国際ソロプチミスト４名
個人１名
明星きらめき祭　11/6　34 名
旭ヶ丘中15名、緑ヶ丘中11名、
飯田女子校２名、
国際ソロプチミスト４名
個人２名

・中学校交流会（各回 15 名程度）
緑ヶ丘中学校　5/14、9/10、12/3　旭ヶ丘中学校　5/21、2/25
東中学校　11/19
・中学校（おもしろプラン）主に外食交流会のボランティア
４回　6/26（緑ヶ丘中学生 15 名）、12/4（旭ヶ丘中学生８名）
2/12（緑ヶ丘中学生９名）、　3/5（東中学生 19 名）
・高校
飯田高校交流演奏会　3/26　40 名　（ふれあいコンサート）
・地元地域
駄科夏祭り　8/15　２名　地域交流、作品販売
竜丘文化祭　11/5～11/6　地域交流、作品展示
竜丘市民運動会　10/9　11 名
駄科文化祭　2/5　２名
飯田市ふれあい広場（会場サントピア）　7/15・16　作品展示
・中学生福祉体験学習　7/12～14　東中　２名　10/12～13　緑ヶ丘中　８名
10/18～20　旭中　４名
職場体験学習　6/28～30　緑ヶ丘中　３名

◎利用者の健康管理と保健衛生

障がいのある方が、そのライフサイクルの中で健康で生き生きとした人生を過ごすには医療との連携が欠かせません。
当学園では毎年の保健事業として、年に一度利用者健診（採血、尿、胸部レントゲン）。毎月嘱託医師（すずおか内科クリニック）の往診、飯田市が施行する大腸がん検診、胃がんリスク検査及び歯科検診を施行しています。
次年度以降の取り組みとして、血液検査でチェックできる前立腺がん、乳がんの目視で行うチェックポイントの指導、飯田市検診の利用率のアップを目標とします。
次年度から､グループホームの利用者の健康診断と内科健診も合わせて実施していきたい。

①定期健診等

・利用者集団健診	年１回	・内科健診	年２回
・定期歯科健診	年１回	・定期往診	年４回
・歯磨き指導	年２回	・血圧測定	毎月
・身長	年１回	・体重測定	毎月

・大腸がん健診　　年１回　　・胃がんリスク検査　　年１回
・職員健康診断　　年２回

②疾病等の状況　　（単位：人）

心臓疾患	6	腸閉塞	2	統合失調症	4
慢性腎不全	1	人工肛門	1	胆のう炎胆石	1
胃潰瘍	3	痛風	3	未熟児網膜症	1
貧血	3	先天性表皮水泡症	1	先天性全盲	6
脳腫瘍後遺症	1	両下肢奇形	1	緑内障	1
脳膜炎	1	体幹機能障害	2	ダウン症	5
くも膜下出血	1	脊椎欠陥	1	白内症	1
脳内出血	1	小頭症	3		
糖尿病	6	ヘルニア	3		
バセドウ氏病	2	脳性小児マヒ	14		
若年性関節リュウマチ	1	睾丸癌	2		
高コレステロール血症	7	乳癌	2		
肢体不自由	5	高血圧	7		
先天性下肢障害	1	てんかん	47		

③入院状況　　（単位：人）

てんかん発作	1	精神科	ｱﾚﾋﾞｱﾁﾝ中毒	1	精神科
糖尿病	1	形成内科	水腎症	1	内科
薬調整	1	精神科	腸閉塞	1	泌尿器科
ヘルパンギーナ	1	内科	肺炎	2	内科

④通院（疾病）状況　　（単位：延べ人数）

精神科	４２	泌尿器科	６
内科科	１３７	整形外科	１０
皮膚科	６５	形成外科	３
婦人科	１	脳外科	５
歯科	２２５	耳鼻科	１
眼科	１２	外科	１５

⑤定期処方

精神科　　６１名　　定期内服処方　　延べ４５６名
内　科　　２０名　　定期内服処方　　延べ１４５名
婦人科　　４名

⑥検診結果　要受診以上　　（単位：人）

精神科	４２	貧血	６

肝機能	１３７	糖尿	１０
皮膚科	６５		

⑦感染症状況

インフルエンザ感染　　星組利用者１８名

インフルエンザ予防接種者　　９７名（９８名中）

⑧介護の状況　　（単位：人）

車イス	１６	排せつ介助	７４
聴覚障害	１	口腔ケア	７４
視覚障害	７	入浴介助	６８
食事介助	２０		

⑨理美容

毎月業者による散髪理美容を実施

◎利用者の食生活健康管理

当学園を利用している方は年齢、体重、作業状態、病弱等で摂取量について幅広く献立表を３通りのグループに分けて作成し、総エネルギーを算出している。なお、肥満防止食、刻み食等は必要に応じて献立し、療育の効果を上げている。

現代の食事は、飽食時代を迎えており、かつてのような満腹と言うよりは、簡便で良質な食材を用い質の高いエネルギーを摂取することに力点を置き、食欲をそそるような盛付け、家庭的な食事環境の設定等、思考をこらしかけがえのない人生の喜びが食事を通して彷彿として湧出するよう心掛けている。

平成 26 年 11 月より減塩を強化した。その時の献立に含まれる月間平均塩分量は、16g で平成 27 年度に 11g 以下を目標と定め、平成 28 年 3 月には 11g 以下を達成した。

減塩の効果の指標として高血圧の傾向にある利用者の割合を看護師に聞くなどして調べたところ、一部の降圧剤を飲んでいる利用者を除いて安定しており、減塩運動以前は降圧剤を飲んでいた利用者も飲まなくなったとのことであった。

味に関しては、当初薄味になってしまい喫食量が減ってしまうのではないかと危惧していたが、皆薄味に慣れていき、それどころか残食量も減っていった。

利用者の嗜好調査を行いました。当学園で提供している食事の好みを尋ね、意見を聞くことが困難な方がいる為、今回は外出先でどのような物を食べて、食糧品店でどのような物を買ってきているのかを調査した。これにより学園の利用者がどのような物を好んでいるのかを把握できた。特に人気のあったのが握り寿司やエビフライであった。早速、握り寿司は行事食へ反映した。

また、年度中には完成に至らなかったが、利用者にわかりやすく献立を掲示するために色々な調理品を撮影し、ホワイトボードにその日の食事の献立を貼るということを考えている。

＜行　事　食＞

日　　付	内　　容	献　　立
4 月 21 日	春の遠足	ワカメご飯、ウインナー、 里芋の甘辛煮 エビフライ･唐揚げ･厚焼き卵 ほうれん草ごま和え、 黒豆、桜大根、ソース オレンジ･お茶
5 月 5 日	端午の節句	昼:太巻き･稲荷寿司･茶碗蒸 天ぷら(えび･インゲン・さつま芋・ ごぼう) 菜の花わさび和え・清汁･ 奈良漬け 間食:カープゼリー
8 月 14 日	盆	昼：あさり･コーン御飯 天ぷら(なす･えび・ピーマン) こんにゃく田楽 きゅうりの粕もみ メロン 間食:てんぷらまんじゅう
9 月 22 日	秋のお彼岸	おはぎ(あんこ･胡麻･きなこ) 天ぷら(ナス･ピーマン･えび) 大根そぼろ煮･吸い物 ほうれん草お浸し･奈良漬け･
10 月 10 日	大運動会	ゆかり御飯･エビフライ 唐揚げ･ｷｬﾍﾞﾂ･厚焼き卵 ﾐｰﾄﾎﾞｰﾙ･ﾅﾎﾟﾘﾀﾝ･漬物 レンコンの煮物・醤油 ほうれん草胡麻和え･お茶
10 月 28 日	秋の遠足	きのこ御飯･唐揚げ･レタス 海老フライ・ツナじゃが煮 ｳｲﾝﾅｰ･菜の花胡麻和え･ 黒豆、お茶
11 月 6 日	明星きらめき 祭(出店)	大根おろし牛丼 オムライス 豚汁
12 月 9 日	もちつき大会	おしるこ･お雑煮･大根田楽 ﾌﾞﾛｯｺﾘｰﾂﾅ和え･みかん･漬物

		こんにゃくとごぼうの煮物 アジフライ（餅食べない人）
12 月 23 日	クリスマス会	ﾋﾟﾗﾌ or ﾅﾎﾟﾘﾀﾝ 楕円&もみの木型ﾊﾝﾊﾞｰｸﾞ ｴﾋﾞﾌﾗｲ・ﾎﾟﾃﾄｻﾗﾀﾞ 唐揚げ･ﾎﾟﾄﾌ ﾚﾀｽ･ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ･ﾐﾆﾄﾏﾄ・ﾌﾗｲﾄﾞﾎﾟﾃﾄ･お 茶･ｹｰｷ ｵﾚﾝｼﾞｼﾞｭｰｽ･ﾋﾞｰﾙ･日本酒（希望者）
12 月 31 日	年越し	御飯･胡瓜の粕もみ･鮪刺身 すき煮･昆布巻き･田作り･黒豆 そば汁･みかん･きんつば 温泉卵･林檎ｼﾞｭｰｽ
1 月 1 日	正月	朝：雑煮風すまし汁･御飯･黒豆 厚焼き卵･栗金団･田作り 数の子･干し柿 昼：御飯･天ぷら･刺身･黒豆 紅白蒲鉾･伊達巻･なます みかん･味噌汁 夕：御飯･豚生姜焼き･栗金団 数の子･白菜胡麻和え･味噌汁
1 月 2 日	正月	天ぷらとろろうどん 大根田楽 オクラなめたけ和え みかん
1 月 14 日	どんど焼き	もち粥･鮭の酒蒸し･厚焼き玉子･ 五色なます 漬物･雑煮風汁
2 月 3 日	節分	握り寿司（ｻｰﾓﾝ･ｱﾅｺﾞ･ﾏｸﾞﾛ･玉子） 太巻き 茶碗蒸し･菜の花わさび和え すまし汁・バナナ
3 月 3 日	ひな祭り	ちらし寿司･ 天ぷら（ｴﾋﾞ･ﾋﾟｰﾏﾝ･かき揚げ） 茶碗蒸し･清汁 菜の花なめこ辛子和え
3 月 18 日	春のお彼岸	おはぎ（きな粉･胡麻･あんこ） えび天･ピーマン天･南瓜天 ごぼう&人参天 ふきの煮物･

		小松菜のﾋﾟｰﾅｯﾂ和え 漬物･吸い物

＜特　別　食＞

内　　容		人　　数
主　　食	一　般　食	９４
	お　　粥	２
副　　食	普　通　食	７９
	粗　刻　み　食	７
	細　刻　み　食	１１
特　別　食	減　塩　食	１
	ﾑｰｽ･ｿﾌﾄ食	１

○利用者の状況（明星学園・第二明星学園）　　平成２９年４月１日現在

＜支援区分別＞　　（単位：人）

	明星学園			第二明星学園	
支援区分	生活介護	施設入所支援		生活介護	施設入所支援
区分　６	１７	１７（ 9）		２２	２２（13）
区分　５	１８	１８（25）		２５	２３（16）
区分　４	５	５（ 7）		１２	１０（22）
区分　３	０	０（ 0）		７	４（ 4）
区分　２	０	０（ 1）		２	０（ 2）
区分　１	０	０（ 1）		０	０（ 0）
合　　計	３９	３９（42）		６８	５９（57）

	明星学園			第二明星学園	
平均支援区分	生活介護	施設入所支援		生活介護	施設入所支援
	5.44	5.44（5.14）		4.85	5.07（3.70）

（　）は、平成２３年度のデーターです。

＜出身市町村＞

明星学園　　（単位：人）

飯田市	伊那市	駒ケ根市	松本市	阿南町	高森町	阿智村	南木曽町
8	6	5	2	2	1	1	1
塩尻市	岡谷市	松川町	諏訪市	須坂市	下條村	川上村	泰阜村
1	1	1	1	1	1	1	1
大鹿村	大町市	天龍村	飯島町	豊丘村	計		
1	1	1	1	1	３９		

第二明星学園　（単位：人）

飯田市	伊那市	岡谷市	松本市	諏訪市	塩尻市	千曲市	茅野市
１７	４	４	１	３	２	１	２
松川町	泰阜村	大町市	辰野町	駒ケ根市	下諏訪町	原村	小布施町
２	２	１	２	２	１	１	１
高森町	信濃町	大桑村	中川村	天龍村	下條村	飯島町	阿智村
２	１	１	１	１	４	１	２
計							
５９							

※出身市町村の状況

	飯田下伊那市町村	その他の市町村	人数
平成２９年	４９．０％	５１．０％	９８人
平成２３年	４６．５％	５３．５％	９９人

◎グループホーム（有誠寮、有明寮、北方のぞみハイツ）

〇事業所の概要

共同生活援助事業（共同生活を行なう住居で日常生活の支援、相談及び助言）

有誠寮（北方寮）　定員４名　　現員３名
有明寮（高羽寮）　定員３名　　現員２名
北方のぞみハイツ　定員４名　　現員４名

〇平成２８年度、事業の内容

＜方針＞

利用者個々のニーズに即したサービス提供に努め、有誠寮（北方寮）及び有明寮（高羽寮）並びに平成２８年２月に開所した北方のぞみハイツの３ヵ所のホームの運営を実施余暇活動の充実や、地域行事への積極的な参加・交流を促進し、家庭的で風土色豊かなホーム環境づくりなどに力を入れ、利用者にとってより良い生活環境の提供を目指しました。
本体施設と連携強化を図ってきました。

【有明寮】

＊地域との係わりを持つよう、ホーム近隣のお祭り（高羽町内会、今宮神社、大宮神社等）に積極的に参加してきました。
＊手をつなぐ親の会が主催する当事者の集まりに積極的に参加されている。
＊学園で大きな行事が催される時は余暇を利用して学園の行事に参加されている。
（各種スポーツ大会、学園大運動会、秋まつり大会、クリスマス会、生活発表会等）

【有誠寮】

＊学園で大きな行事が催される時は余暇を利用して学園の行事に参加されている。
（各種スポーツ大会、学園大運動会、秋まつり大会、クリスマス会、生活発表会等）
＊ホーム近隣のお祭りやイベントなどへはあまり積極的に参加でなかった。

【北方のぞみハイツ】
＊平成２８年２月に開所し、４名の利用者さんが住み始めており、快適に過ごしています。
＊今後、ホーム近隣とのコミュニュケーションを図る必要があります。

（共　通）
・グループホーム交流会（5/15）9 名参加　（松川青年の家）
　飯田下伊那地区の他のグループホーム利用者との交流会参加
・お楽しみ会
　グループホームのメンバーさんと職員を交え、外出、食事会等を実施。
・保護者との連携
＊主に盆、正月、ゴールデンウイークの帰省の際に連携しながら調整（切符を買う、お小遣いの用意、荷物の確認等々）を行っています。
・利用者と家族の交流
＊兄姉が面会、兄弟と共に地元への帰省、定期的な帰省等と家族との関係を図るようにしました。今後も家族との関係を密にするよう努めます。
＊殆んどの方が保護者が高齢又は既に他界、あるいは疎遠に伴い家族との交流が困難な状態。

〇人材育成事業
　＊飯伊圏域障がい者総合支援センターが主催しての世話人研修会に積極的に参加。
　（調理研修、感染症研修、ケース検討についいての研修）

〇利用者の状況

①支援区分別　（単位：人）

支援区分	共同生活援助
区分５	1
区分４	2
区分３	2
区分２	4
合計	9

②出身地の状況
出身市町村　（単位：人）

飯田市	阿智村	豊丘村	大鹿村	横浜市	計
5	1	1	1	1	9

◎特定相談支援事業所（明星学園一番星、第二明星学園一番星）

事業所在地　　明星学園及び第二明星学園内

運営方針

社会福祉法人明星会　特定相談支援事業所　明星学園一番星及び第二明星学園一番星は、次の事項に配慮し公正かつ中立な事業運営を実施

①利用者の意向を踏まえ、自立した日常生活、社会生活を実現するよう努める。

②利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者の選択に基づき、地域生活に移行するための活動に関する支援、常時の連絡体制の確保、障がい特性に起因して生じた緊急事態等に速やかに対応する等、必要な支援を適切に行う。

③利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立った相談支援の提供に努める。

④自らその提供する指定特定相談支援の評価を行い、常にその改善を図るよう努める。

◎その他

・職員研修等（明星学園／第二明星学園）

明星学園主催の「療育研究会」「臨床動作法飯田月例会」等、研修の機会を設けた。

・療育研究会　　４回（5/30、7/5、9/2、1/24）

・動作法月例会　　９回（5/7、6/4、7/2、9/3、10/1、11/5、1/14、2/4、3/4）

・介護研修　　8/23、25

・合同ケース研究会　　2/19

・職業能力開発研修　１０回（6/22、7/29、8/31、9/30、11/2、11/30、12/19
2/1、3/1、3/21）　　職員 15 名参加

国の補助制度（労働局）　　講師　入江感動経営研究所　入江元太氏

・広報活動

ホームページ運用

機関紙発行「プリズム」　1,400 部作成　　年２回（８月、２月）

配布先　　関係機関 350　学園関係者 200（法人役員、保護者、職員）
地域住民（伊賀良地区 600、竜丘地区 230、地元新井原 20）
へ配布

各委員会（必要に応じ随時開催）

委　員　会	目　　的・実　施　事　項	開催回数
運営委員会	・毎月の行事予定等の日程調整、各クラスの情報の共有、経営に関する課題や緊急性のある問題等を事務局と一体と	月 2 回

	なって検討	
人権倫理	・人権侵害に関する書籍、資料を使って知識を深め、障がい者の人権に関する問題について検討	月１回
衛　　生	・衛生に関する書籍、資料を使って知識を深め、職員の労働安全衛生に関する問題について検討	月１回
人材育成	・職員の育成を図るため内部研修、外部研修計画の立案	月１回
虐待防止	・内部での虐待事案及び疑いの報告があった場合に調査、審査、報告をする	都度
広　　報	・「明星学園だより」「ホームページ」及び「ブログ」の編集・発行等広報事業の企画、実施	月１回
相談支援 企画運営	・モニタリングの計画、進捗状況の確認。 ・研修、行政からの連絡事項の周知。	月１回

苦情・虐待に関する通報件数

内　　容	明星学園	第二明星学園	ＧＨ
苦　　情	2	2	0
人権侵害 虐　　待	0	0	1

・職員のメンタルケア、健康推進

メンタル関係

①メンタルチェック

中部公衆医学研究所に委託し、職員のメンタルチェックを実施しました。

相談が必要がある場合は、本人が直接申し込めるシステムとなっています。

②職員のメンタルの相談機能を持つ専門機関に委託しました。（メンタルヘルスサポート）

「障がい福祉現場における人材確保、人材育成、職場定着は最重要課題である。本協議会は、職場で相談できる人がいない、家族や友達、仲間にも話すことができない、上司に分かってもらえない、部下との人間関係に悩む、相談したいけど秘密が守られるか等の心配に対して、悩みに耳を傾け、一緒に考える場を設けることで、職員のメンタルヘルスケアの推進を図るものとする。」

③職員の健康推進を図るため、フィットネスクラブに法人が加入し、利用を促進しています。

＜組織メンタルヘルスサポート＞

飯田下伊那の障がい者関係の５施設が加入し「飯伊圏域メンタルヘルスサポート協議会」

を設置（平成２７年１０月１日）
「カウンセリングルームＧＩＦＴ」という名称の相談日を設定し、毎月第一木曜日に開催（１日に３名までの相談可能）

＜相談委託先＞
一般社団法人日本カウンセラー協会　上信越支部長野事務所
経費　　相談料　30,000 円（1 時間 10,000 円）
　　出張費　実費（約 13,000 円）
　　経費は、５施設で負担

平成２８年度実績

月	相談者数	相　談　者　の　内　訳
４月　７日	３名	女性 2 名（50 代）、男性１名（40 代）
５月１２日	１名	女性１名（40 代）
６月　２日	１名	女性１名（20 代）
７月　７日	２名	女性１名（50 代）、男性１名（40 代）
８月１８日	２名	女性１名（50 代）、女性１名（20 代）
９月　１日	１名	女性１名（50 代）
１０ ～ ２月	な　し	
３月中	２５名	５施設で実施、体験相談
合　　計	３５名	

※ 所属先、相談内容、職員名は秘密事項であり事務局ではわかりません。
（平成２７年度実績　１２～３月　延べ８名）

◎ 明星保育園

運営方針

◇ 乳幼児期でないと経験できない学びを十二分に体験する。

◇ 実体験を通して、様々なことに興味を持ち、主体的に取り組み工夫し、粘り強くチャレンジする気持ちを育てる。又、子ども達の試行錯誤する時間と空間のゆとりを保障する。

◇ ありのままの個性を受け入れられ、人から大切にされ、尊重される経験を通じて、人を思い人のために役立ちたいという気持ちを育てる。

◇ 地域の人々、障害のある人々との交流を通じていろいろな人との関わりを持ち、様々な生活があることに思いを寄せることができるようにする。

ア 方針

① 保育目標

◇ 自分で考えて自ら動ける子ども

◇ 思いやりの心を持つ子ども

1 保育方針・保育目標が変わり、保護者や地域に向けて説明会や講演会を開催するなどしてご理解いただくとともに、子ども主体の遊びや活動を通して、自ら学ぶ姿を支えることに努めた。

2 友達とのかかわりの中で、思いやりの気持ちや仲間意識を持てるような保育を心がけた。

イ 事業の概要

① 保育事業

Ａ 保育所入所利用者への支援

1 ㋐子どもの健やかな育成を目指し養護と教育の一体化を図る為、年間指導計画に基づき月案・日案を作成し実践していった。

㋑外部講師を依頼して、保育の充実を図る。

絵画活動（2 歳以上児） ：5/13～年 17 回
（飯田美術研究所 桐生好先生）

リトミック（2 歳以上児） ：11/25～ 年 6 回
（音楽教室主宰 熊谷暁代先生）

運動あそび（3 歳以上児） ：11/23～ 年 3 回
（子ども身体運動発達指導者 酒井奏尚先生）

スポーツ教室（3 歳以上児）：4/21～ 年 11 回
（幼児活動研究会 高須雅志先生）

2 ㋐産休明け保育 延べ７人

㋑延長保育促進事業　　延 9,662 人　　（H29.3.31 現在）

利用状況　　（単位:人）

延長保育入所数				一日の利用者数
	16:00～17:00	17:00～18:00	18:00～19:00	
4 月	82	409	106	597
5 月	278	310	105	693
6 月	293	447	98	838
7 月	261	474	118	853
8 月	240	415	116	771
9 月	306	445	117	868
10 月	282	479	151	912
11 月	292	430	175	897
12 月	264	374	156	794
1 月	212	296	126	634
2 月	275	411	192	878
3 月	302	432	193	927
合計	3,087	4,922	1,653	9,662

㋒病後児保育

伝染病については、治癒証明を持参のうえ保育に当たった。

㋓障がい児保育

複数担任での対応　加配保育士　1 名

3 個別支援計画を作成し、PDCA サイクルを基本として子どもの姿に併せて支援方法を探って行った。

4 食事対応

㋐ 栄養士と保育士とで、給食検討委員会を定期的（月 1 回～2 回）に開催し、園児の健康状態を考慮した（食物アレルギー等の除去食）対応や、個々の発達や発育に応じた適切な支援を行い、保護者の要望も含め反映できるよう協議し、良質な食事提供を行った。また、個別支援計画にも反映させた。

㋑ 栄養士や看護師、保育士と連携を図りながら、園児のその日の体調に合わせた献立の変更等を臨機応変に行い、適正な栄養が摂取できるように努めた。

㋒ 嗜好調査を年 1 回行い、個人の嗜好を考慮しながら好き嫌いなく食べられるように、食材や調理の工夫をした。

㋓ 月に 1 回の誕生日会には、誕生日用の献立や手作りケーキ等の献立を設けた。また、子どもの日やひな祭りなどの行事にあわせた手作りのお祝い食や、手作り桜餅や柏餅を提供し、楽しくおいしく食べられるよう工夫を行った。

㋔　食材はできるだけ域産域消に努め、信州の郷土食メニューを取入れ地域性や季節感のある食事やおやつを提供した。
㋕　咀嚼力アップメニューをめざし、年齢の発達に合せた食材の配慮をしながら積極的に献立に取り入れるようにした。

5 防災・防犯関係
㋐地震総合防災訓練　　１回　　9/1
㋑保護者への引き渡し訓練　１回　　9/15
㋓避難訓練年間　　１２回　　毎月１回
㋔防犯訓練　　２回　　6/8、11/16

B　地域の子育て支援
1 地域の子育て家庭を支える
㋐一時預かり保育
延　15 人　　4 時間未満　26 回　　4 時間以上　41 回

一時保育利用者

	利用人数	利用状況	
		4 時間未満(回数)	4 時間以上(回数)
4 月	0	0	0
5 月	1	5	7
6 月	1	1	11
7 月	0	0	0
8 月	0	0	0
9 月	0	0	0
10 月	1	0	1
11 月	3	2	1
12 月	1	7	0
1 月	1	6	0
2 月	3	5	1
3 月	4	0	20
合計	15	26	41

㋑未就園児交流事業
子育て支援地域活動事業　未満児交流事業（おひさまくらぶ）

講　座　名	回数	講　　師　　名	参加人数
リトミック	3 回	飯田女子短期大学兼任講師 庄司洋江先生	８２名
わらべうた	2 回	子育てサークル各種講師 中津美奈子先生	６０名
絵本の読み聞かせ	1 回	長野県短期大学非常勤講師 下沢洋子先生	３３名
育児講座	1 回	東京大学名誉教授　白梅学園大学教授 汐見稔幸先生	１１６名
クリスマス会	1 回	ブラックシアター 保育園職員	１７名
計	8 回		３０８名

遊びの提供・行事への参加・育児相談・育児講座・園庭解放

㋒世代間交流事業

11 回実施　デーサービスお年寄との交流

みつばさ　6 回　　北方の空　5 回

みつばさ		北方の空	
開催日	参加人数（利用者）	開催日	参加人数（利用者）
6/20	45 名（13）	6/16	63 名（2）
7/5	38 名（10）	7/8	38 名（4）
8/23	29 名（15）	8/22	67 名（7）
9/15	感染症のため閉会	9/7	25 名（20）
10/23	感染症のため閉会	11/22	感染症のため閉会
11/29	46 名（9）		
計	158 名（47）	計	193 名（33）

2 住民や機関との連携

㋐実習生受け入れ　　延 3 人

（飯田女子短大・東海学院大学・愛知学泉短期大学）

㋑中学生職場体験　　延 5 人

3 関係機関との連携

㋐児童相談所との連携　　〇虐待　3 ケース

㋑子育て支援課との連携　　〇虐待　3 ケース　　〇障がい　25 ケース

㋒健和会（言語・作業療法）　　7 ケース

㋓飯田市立病院（言語・発達外来）　5 ケース
㋔子ども発達センターひまわり　　15 ケース
㋕教育相談（教育委員会）5/9、10/13
キ就学判断（教育委員会）10/14、10/25
ク研究保育　保育専門相談員（飯田保健福祉事務所）　8/30
　　保育専門指導員（飯田市子育て支援課）　9/27
ケ飯田市巡回訪問　（飯田市子育て支援課）6/21、7/14、10/6、10/17、
　　10/24、2/17

4 見学者の受け入れと対応
㋐入所希望者の見学の受け入れ　　延 31 人
㋑関係機関からの見学希望者の受け入れ　延 43 人

5 家族との連携
㋐クラス便り　　年 32 回発行
㋑クラス懇談会
㋒個人面談
㋓保育参加
㋔保育参観
㋕明星便り適宜

6 小学校入学へのスムーズな移行
㋐教育相談　13 人
㋑就学判断　 2 人

7 明星保育園の主な行事
別紙②③のとおり

8 ヒヤリハット報告数

	にじぐみ	つきぐみ	ほしぐみ	つくしぐみ	つぼみぐみ 1	つぼみぐみ 0
テラス	0	1	0	0	0	0
園庭	0	1	2	2	1	0
保育室	0	0	0	0	2	2
合　計	0	2	2	2	3	2

※滑り台を同時に２人で滑り出し危険であった。→あそびの見守り
※遊びながら椅子に座り、転倒しそうになる。→座り方の指導　他

9 医療関係事故報告件数

	にじぐみ	つきぐみ	ほしぐみ	つくしぐみ	つぼみぐみ 1	つぼみぐみ 0
テラス	0	0	0	0	0	0
園庭	3	0	0	1	2	0
保育室	0	0	0	0	0	0
合　計	3	0	0	1	2	0

※トランポリンで友達とぶつかる。→唇裂傷→歯科に通院。
→　個別支援、環境設定

※おもちゃの取り合いで、かみつき。→皮膚科に通院に通院。
→　個別支援、環境設定

10 苦情処理

㋐苦情件数　　3 件　・新体制への質問、要望
㋑三者委員依頼　　1 回　・質問、要望の話し合いに参加

② 人材育成事業

Ａ　園内研修　福岡寿先生

日　付	内　　容
5 月 7 日	全体講義
7 月 15 日	にじ･つきぐみ保育参観
7 月 16 日	カンファレンス
9 月 23 日	つきぐみ保育参観･カンファレンス
11 月 5 日	講義･カンファレンス
1 月 20 日	ほし･つくしぐみ保育参観
1 月 21 日	カンファレンス

Ｂ　園外研修

月　　日	研　　修　　名	参加数
5 月 13 日	発達推進会議	２名
5 月 31 日	幼保小中連携推進委員会	２名
6 月 2 日	特定給食施設等従事者研修会	１名
6 月 6 日	ひろみち・たにぞうの伝説の運動会	２名
6 月 20 日	幼保小中連携推進委員会	１名
6 月 21 日	防火研修会	２名
6 月 28 日	幼保護児童支援研修会	３名
6 月 29 日	保育所保育士研修会	２名

7月7日	食を考える集い	１名
7月9日	南信子育て塾	９名
7月23日	朝日夏季大学	３名
7月23日	保育所保育士当等研修	１名
7月24日	21世紀保育の内容・質を巡って	７名
8月20日	発達障害の理解と援助	４名
10月19日	保育所給食担当者研修会	１名
11月14日	幼保小中連携推進委員会	２名
11月17日	防火管理者研修会	１名
11月20日	発達障害専門外来研修会	２名
11月21日	年末調整研修会	２名
12月2日	感染病食中毒等蔓延防止研修会	１名
12月12日	保育園栄養士連絡会議	１名
12月29日	BLSヘルスケアプロバイダーコース	１名
1月16日	幼保小中連携推進委員会	２名
2月16日	発達推進会議	３名

③ 各委員会

委員会	目的・実施事項	開催回数
職員会	・主体的保育についての理解。事故防止及び発生時の対応。行事等の調整。	１７回
クラス主任会	・保育並びに環境づくり、個別支援・クラス作りへとつなげていく。	４４回
クラス会	・クラス内の連携を執ると共に、問題解決を図り、クラス主任会へとつなげる。	５４回
給食検討委員会	・アレルギー、離乳食の進め方の内容検討。楽しくおいしい献立の工夫。	１２回

〔資　料〕

園児の状況（平成 28 年 4 月 1 日）

（単位:人）

クラス	在籍人数	鼎	座光寺	松尾	伊賀良	その他
にじ組	30	22	0	0	6	2
つき組	27	18	0	1	4	4
ほし組	25	23	1	0	1	0
つくし組	20	15	0	1	2	2
つぼみ組 1	17	12	0	1	4	0
つぼみ組 0	2	2	0	0	0	0
合計	121	92	1	3	17	8

園児の利用実績（平成 28 年 3 月 31 日）

（単位:人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
退園	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1
入園	0	0	1	1	1	0	1	0	0	1	1	0
園児合計数	121	121	122	122	123	123	124	124	124	123	124	123

明星保育園職員数（平成 29 年 4 月 1 日現在）

園長	1 名
副園長	2 名
保育士	11 名
保育士（パート）	6 名
事務員	2 名
栄養士	1 名
調理師（パート）	1 名
看護師（パート）	1 名
パート	7 名
計	31 名

利用子ども数の実績 （年齢別・保育必要量区分別）

（単位：人）

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
保育標準時間	4歳以上児	20	20	20	21	21	21	21	21	21	21	20	20
	3歳児	8	7	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5
	2歳児	6	5	4	5	5	5	5	4	4	4	4	5
	1歳児	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5
	0歳児	0	0	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2
	計	40	38	37	39	38	38	38	36	36	37	31	37
保育短時間	4歳以上児	37	37	37	35	35	35	35	35	35	35	36	36
	3歳児	17	18	19	19	19	19	19	20	20	20	20	20
	2歳児	14	15	16	15	15	15	15	16	16	16	15	14
	1歳児	11	11	11	11	12	12	12	12	12	12	12	11
	0歳児	2	2	2	3	4	4	5	5	5	5	5	5
	計	81	83	85	83	85	85	86	88	88	88	88	86
園児合計数		121	121	122	122	123	123	124	124	124	125	124	123